

一般質問

市の明日を考える!

9月定例会の一般質問は、9月5日、6日及び9日の3日間にわたって行われ、14人の議員により、活発な議論が展開されました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



加藤 建也

[無所属]

2020年東京オリンピック・パラリンピックの 聖火リレーが二本松市を通らない理由は

問 なぜ、二本松市が聖火リレーコースから外されたのか。

答 県内7方部のバランスや、津波被災地及び原発事故による避難地域、オリンピックゆかりの市町村などを考慮し、「国際オリンピック委員会」の承認を経て決定された。本市が聖火リレーのコースから外れたことは大変残念であり、6月1日の公表を受け、直ちに市長自ら県庁に赴き、再考を求める要望を県知事宛に行ったが受け入れられなかった。今後は、全ての市町村が

関わることのできる県のリレーイベントへの積極的な参加など、機運醸成に向けて全力で取り組んでいきたい。

問 聖火リレーが二本松市を通らないのであれば、市独自の記念体育祭などを考えられないか。

答 独自の取組みとして、オリンピックの機会を捉えて市民全体で機運を盛り上げ、オリンピックが終わった後でも心の中に残るものを市独自または近隣市町村と協力しながら実施することも含めて検討していく。

ふるさと納税の運用は

二本松駅南開発計画は

問 直近5年分のふるさと納税受納額は。

答 平成26年度1,335万円、平成27年度862万円、平成28年度672万円、平成29年度1,112万円、平成30年度1,708万円である。

問 他市へのふるさと納税を差し引いた収支額は。

答 平成26年度+634万円、平成27年度-1,477万円、平成28年度-2,308万円、平成29年度-3,135万円、平成30年度-3,014万円だった。

問 ふるさと納税ポータルサイト（募集の窓口）

利用の効果について伺う。

答 平成29年度11月よりポータルサイトの利用を開始し納税額が平成30年度に596万円伸びたことから、十分に効果があったと分析している。

問 二本松駅南口改札設置の計画は。

答 今現在の跨線橋を車椅子対応のエレベーターを備えた幅員の広い自由通路に架け替えを予定し、駅の南北往来の利便性を向上させる計画としている。



坂本 和広

[真誠会]



佐久間 好夫

[真誠会]

高齢者公共交通運賃無料化による乗車状況は

仮設焼却施設の稼働は順調か

問 本年度から実施された高齢者の公共交通運賃無料化によるコミュニティバス利用状況は。

答 本年4月から7月までで4,054人で、前年度対比3.7%の増加となり、感謝の意見もいただいている。自宅からバス停までが遠いとの声もあるが、バス停以外での乗降も可能である。

問 生活保護行政の充実は図られているか。

答 現在市では、法に基づく適正な人数の職員を配置し、社会福祉協議会等各種機関と連携し、生活困窮者の相談に適切に対応している。

問 県道の立木伐採、除草及び舗装について伺う。
答 県二本松土木事務所では原町・二本松線の立木伐採並びに除草作業は年2回業務委託で実施しているが、安全対策のため県に要望する。舗装の修繕については、太田若宮地内を含め県に現地確認を依頼したところである。

問 仮設焼却施設は順調に稼働しているのか。

答 現在は安全対策を図りながら順調に稼働しているが、万一不具合等発生時は防災行政無線で情報提供する。

本市の教育は

地域おこし協力隊員の起業、事業化の支援は



安齋 政保

[市政会]

問 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）とは、どのようなシステムなのか。

答 学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、協働で子供達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進めるものである。

問 本市として取り組む考えはあるのか。

答 本市は全小・中学校に学校評議員制度を設け、貴重なご意見をいただいております。現在他市町村で行われているコミュニティ・スクールの実

施状況を見ると、学校・保護者・地域等の負担が大きいの声もあり、本市のコミュニティ・スクールの設置趣旨が生きるシステムの構築を図っていく。

問 和紙伝承館の協力隊員（紙漉き）の支援策は。
答 協力隊員の意向確認も必要だが、3年間で培った和紙漉き技術や活動実績を生かしながら、二本松市に定住していただき、期間満了後も和紙伝承分野で活躍できるように本人と株式会社二本松市振興公社と協議しながら検討する。



石井 馨

[無所属]

小中一貫教育の導入を検討すべきでは

結婚の推進を図っていくべきでは

問 小中学校9年間の課程で、いわゆる中一ギャップ対策を含め、児童生徒の多様な個性を伸ばす意味で小中学校の垣根を超えた小中一貫教育の導入を検討すべきではないか。

答 今年度、幼保と小中学校接続のあり方を担当する指導主事を採用し、児童生徒の発達段階に応じた指導助言を行っている。中一ギャップについては本市ではその傾向はみられないが、一貫した教育課程と学習環境を提供していくことが大切と考えているので、今後「適

正規模等調査検討会」で検討していく。

問 結婚の促進を図っていくうえで、お世話役の活動が重要と思うが、今後増員と報酬の引き上げの考えは。

答 お世話役の活動で平成27年度から現在まで4組の成婚となっている。お世話役については、現在16名に委嘱しているが、今後25名から30名に増員していく。成婚報酬は、平成29年にそれまでの5万円から10万円に倍増したので当面このままでいく。

東京オリンピックでの聖火リレー参加は

スカイピアあだたらのパークゴルフ場建設は



平栗 征雄

[市政刷新会議]

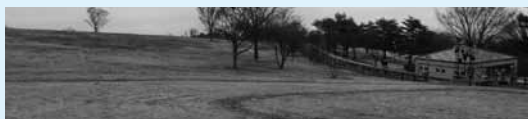
問 聖火リレーコースから市が外れた時点での参加の働きかけと将来を託す子ども達の参加が叶わなかったことをどう思うか。

答 聖火リレーのルートから外れたと知った時点で、直ちに市長自ら県庁に赴き、再考を求める要望を行った。聖火リレーは、レガシーとして一生心に残る行事であり、本市がこのリレーから外れた事は大変残念である。

問 スカイピアあだたらに建設予定のパークゴルフ場施設について、その後の計画、実施方針

を伺う。

答 現在、県内外における他のパークゴルフ場の整備状況について調査研究を行い、コースの内容、クラブハウス、駐車場などの付帯設備について、慎重に検討を重ねている。



施設建設予定地のスカイピアあだたら



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

二本松市が考える観光拠点の在り方は

道路修繕の対応について

問 二本松城跡総合整備事業において整備される「二本松城文化観光施設」はどのように利用をしていくのか。

答 市内の観光地等を「点ではなく線として」紹介するための情報発信機能や、観光客が訪問したい場所に案内できる機能を備えた観光情報の中心拠点施設として位置づけ、観光地・市街地への周遊を促し、滞在時間の延長と市内での消費額の向上を図るとともに、インバウンド誘客促進を強化するため、県立霞ヶ城

公園を舞台とする着地型観光の商品造成を進める。

問 汚染土運搬処理後の道路破損箇所の修繕等の対応はどのように考えているか。

答 相談、要望を受けている箇所については、現在、環境省との協議を進めている箇所もある。10月には環境省との意見交換会が予定されているが、道路補修の考え方が協議事項となっており、協議結果を踏まえながら、必要な修繕は適切に実施していく。

消費税率引き上げへの対策を万全に

「幼児教育・保育の無償化」10月スタート



小林 均

[公明党]

問 プレミアム付き商品券の消費喚起効果は。

答 国では商品券販売額の30%以上の効果があると推計。市内の店舗等300件からの応募があり、地元での消費の促進も期待できる。

問 対象者数と、購入引換券送付の進捗状況は。

答 住民税非課税世帯8,903人、子育て世帯の3歳未満の子供1,090人で、非課税世帯（申請必要）、子育て世帯共に9月中旬発送予定である。

問 軽減税率対応レジ補助金についての問い合わせや相談はどれくらいあったのか。

答 8月末現在434件の問い合わせがあった。

問 10月からの幼保無償化への手続きが必要な世帯と市民へのスムーズな広報について伺う。

答 申請手続きが必要と想定される保護者には、現在利用中の施設を通し申請書等の配布・回収を行うと共に、市ウェブサイト、「広報にほんまつ」に記事を掲載し、広報を行っている。

問 第2子以降保育料無料は今後も継続されるか。

答 国の無償化適用後に、なおも無償とされない課税世帯の0～2歳の助成を、10月以降も継続する。